10 月 26 日-11 月 1 日

エレミヤ 47-48 章

---

125 番の歌と祈り | 開会の言葉（1 分）　水品 安章 | 有川 聖七

神の言葉の宝

1. エホバは，正しく憐れみ深い裁きを行う（10 分）　田中克彦

エレミヤは，エホバがユダに対する行いゆえにモアブを処罰すると予告した。（エレ 48:27，29，42。洞「モアブ，モアブ人」2 項 22 節）

エホバはモアブを滅ぼすことを望んでいたわけではない。（エレ 48:31，36）

モアブ人の中には，エホバから憐れみを示された人もいた。（エレ 48:47。洞「モアブ，モアブ人」2 項 24 節）

じっくり考えてみよう エホバが憐れみ深い方だということが分かると，今どんなことをしたいという気持ちになるか。（塔研 24.05 17 ページ 10 節）



大患難が始まった後も，考えを変える人がいるかもしれない。

2. 宝石を探し出す（10 分）　伊藤 勇一

エレ 48:6 逃げて，自分たちの命を守れ！ 荒野の低木(c*ビャクシン属の低木かも)のようになれ。

モアブ人が「荒野の低木のようにな」るとはどういう意味か。

（洞「ねずの木」2 項）[ヘ語，アローエール，またはアルアール] アラビア語のアルアルは，この木が恐らくフェニキアビャクシン（*Juniperus phoenicia*）であろうと同定するのに助けとなります。これは低木性の木で，シナイ地方に，またエドムの砂漠地域にも分布しています。この木の名前の元となったヘブライ語の語根語には，「裸」あるいは「はぎ取られる」といった考えが含まれていますが（詩 102:17 と比較），それと一致して，この低木性のねずの木はかなり暗い外観を持ち，砂漠の岩の多い地域や大岩の上に生育すると言われています。エレミヤ書の中では適切にも，心がエホバからそれて行く人を「荒れ野に一本だけ立っている木[アルアール]」に例える際や，モアブ人が逃げ去って「荒野のねずの木[カアローエール]のように」なると警告する際に，この木が用いられています。—エレ 17:5，6; 48:1，6（ただし，脚注を参照）。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。48:11 は、モアブ人を誉めているのではなく、おりの上に寝かせても味が良くならない質の悪いぶどう酒に例えている。ここで捕囚の身になることがその味を改善する良い影響力として挙げられているのは興味深い。私たちも様々な試練について、自分の人格を磨く良い機会と見て、感謝して受け入れていきたい。

3. 聖書朗読（4 分）エレ 48:1-13（教励 第 11 課）　田中 慶一 教励 11

伝道を楽しもう

4. 会話を始める　**伊藤 本子 愛込 5-4 枝並 あや子**

（3 分）家から家の伝道。（愛込 レッスン 5 ポイント 4）

5. 再び話し合う　**米山 真菜美 愛込 9-5 福永 和子**

（4 分）日常生活の会話。「愛を込めて」の冊子の付録 A から 1 つの点を伝える。（愛込 レッスン 9 ポイント 5）

6. 教えて育てる　**金刺 桂子 教励 8 長谷川 真穂**

（5 分）聖書レッスン生に，もっとよく祈るよう勧める。（教励 第 8 課）

クリスチャンとして生活する

158 番の歌

7. 会衆で考えたいこと（15 分）　**阿部 直生**

8. 会衆の聖書研究（30 分）勇 14 章　**星 延宏 ｜ 米山 英行**

閉会の言葉（3 分）｜54 番の歌と祈り　**長谷川 瑛一**

^ （エレ 47:1-48:47） ファラオがガザを打ち倒す前に，フィリスティア人についてエホバが預言者エレミヤに語った言葉。 2 エホバはこう言う。 「見なさい！ 北から水が来る。 激しく流れる川になり， 土地とその中の全ての物を覆い， 町と住民を覆う。 人々は叫び声を上げ， 土地の住民は皆泣き叫ぶ。 3 雄馬がひづめを踏み鳴らす音， 戦車の騒音，車輪のごう音を聞いて， 父たちは手が力なく垂れ下がり， 振り向いて子を見ることもしない。 4 全てのフィリスティア人を滅ぼす日が来ようとしている。 ティルスとシドンは，残っている援軍を断たれる。 エホバはフィリスティア人を滅ぼすのである。 カフトル島*から来て残っている者たちを。 5 ガザは，はげになる*。 アシュケロンは沈黙させられた。 彼らの谷あいの平原に残っている者よ， あなたはいつまで体に切り傷を付け続けるのか。 6 ああ，エホバの剣よ！ いつまで静まらないつもりか。 さやに戻り，休んで，黙っていよ。 7 どうして静まれるだろうか。 エホバがそれに命令したのだから。 アシュケロンと海辺を攻めるために， それを遣わしたのである」。

48 モアブについて。イスラエルの神，大軍を率いるエホバはこう言う。 「災いだ！ ネボは滅ぼされた。 キルヤタイムは恥をかかされ，攻め取られた。 安全な避難所*は恥をかかされ，壊された。 2 人々はもはやモアブを褒めたたえない。 ヘシュボンで彼女*の没落を企てた。 『さあ，この国を滅ぼそう』と。 マドメンよ，あなたも黙っているべきである。 剣が迫っているからだ。 3 ホロナイムから叫び声が聞こえる。 破壊と大々的な崩壊の音も。 4 モアブは打ち壊された。 彼女の小さな子たちは叫び声を上げる。 5 人々はルヒトの上り坂を泣きながら上る。 ホロナイムの下り坂では，惨事を嘆く声を聞く。 6 逃げて，自分たちの命を守れ！ 荒野の低木*のようになれ。 7 あなた*は自分の行いや財宝に頼るので， やはり攻め取られることになる。 ケモシュは捕囚の身となる。 自分に仕える祭司や高官と共に。 8 滅ぼす者が全ての町を襲い， 逃れる町は一つもない。 谷*は滅び，平地*は滅ぼし尽くされる。 エホバが言った通りに。 9 モアブのために標識を立てよ。 荒れ果てた彼女は逃げるからである。 彼女の町々は恐怖の光景となり， 誰も住まなくなる。 10 エホバからの任務をいいかげんに行う者は災いを受ける！ 剣で血を流そうとしない者は災い